

2021年 第49週（12月6日～12月12日）の感染症発生動向調査情報を送付します

<今週の内容>

- 1 管内の発生状況
- 2 発生から見る注意点
 - 1) 感染性胃腸炎の発生が続いています
 - 2) 手足口病の発生が続いています
 - 3) 侵襲性肺炎球菌感染症に注意してください
- 3 新型コロナウイルス感染症について
 - 1) 感染再拡大警戒！感染対策の徹底を！
 - 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」
- 4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

1 管内の発生状況

- 1) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）（報告のあった全疾患）

（表1）

	疾患名	定点当たり患者数			増減 (今週-先週)
		今週	先週	先々週	
1位	感染性胃腸炎	9.50	6.00	1.50	+3.50
2位	手足口病	4.00	3.00	1.50	+1.00
3位	ヘルパンギーナ	2.50	3.50	0.50	-1.00

- 2) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）
報告はありません

2 発生から見る注意点

- 1) 感染性胃腸炎の発生が続いています

管内の感染症集団発生は報告されていませんが、兵庫県内では、49週1件（先週6件）の集団発生が報告されています。

高齢者等の施設内での嘔吐や下痢等の症状が見られた場合は、感染性胃腸炎を念頭に置き、対応をお願いします。症状消失後も1週間～1か月程度、便中にウイルスが排出されていますので、引き続き注意が必要です。

兵庫県立健康科学研究所の検査で、感染性胃腸炎患者3人（2歳, 便10/25採取、2歳, 便10/27採取、2歳, 便11/11採取）からノロウイルスGⅡ.4型を検出しました。

感染性胃腸炎とは（兵庫県ホームページ）

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/hw12_000000035.html

- 2) 手足口病の発生が続いています

手足口病は、コクサッキーウイルスなどにより口の中や、手足などに水疱性の発疹を引き起こします。発熱は約3分の1にみられますが、高熱が続くことはありません。軽い症状で治ることがほとんどで、これまでほとんどの人が子どもの間にかかって、免疫をつけてきた感染症です。

治った後でも、比較的長い期間、便などからウイルスが排泄されることがあるので、保育施設などの乳幼児の集団生活では、感染を広げないために、しっかりと手洗いをするのが大

切で、特におむつを交換する時には、排泄物を適切に処理し、しっかりと手洗いをしてください。手洗いの徹底、食品の十分な加熱調理等、感染予防にご注意ください。

手足口病とは（国立感染症研究所 HP より）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/441-hfmd.html>

3) 侵襲性肺炎球菌感染症に注意してください

管内での報告はありませんが、兵庫県では、49週3人の報告があり、今年の累積患者数は63人となり、過去5年間の同時期と比較して少ない状況で推移しています。性別分布は、男性45人、女性18人、年齢分布は、70歳代18人、0～9歳14人、50歳代、60歳代及び80歳代が各8人の順で多くなっています。

この疾病は、冬から初夏にかけて、患者数が増加する傾向があります。鼻やのどに常在する肺炎球菌が、血液や髄液に移行して、敗血症や髄膜炎を起こすことが知られており、重症化しやすい小児及び高齢者を対象として、定期予防接種が行われています。

今年の患者のうち、ワクチン接種歴有りが19人、接種歴無しが24人、不明が20人となっています。

3 新型コロナウイルス感染症について

兵庫県内では、第49週は34人（先週36人、先々週29人）の新型コロナウイルス新規感染者で、下げ止まり傾向となっています。今週は福祉施設及び医療機関でクラスターが発生しており、今後3回目のワクチン接種までの間、ブレイクスルー感染が懸念されます。

国内で確認されたオミクロン株感染者数は12月15日時点で32人となり、濃厚接触者数は1000人を超えています。14日発表の兵庫県内在住の濃厚接触者数は60人で、兵庫県立健康科学研究所においても2週間の健康観察期間中、2日ごとにPCR検査を実施していますが、現時点で陽性者は確認されていません。

感染防止対策は変異株であっても同様です。マスクの着用、手洗いや手指消毒、3密の回避等感染防止対策を徹底し、家庭内では定期的な換気やドアノブなど共用部分の消毒、タオルや食器などの共用を避けるなど、感染防止対策をお願いします。

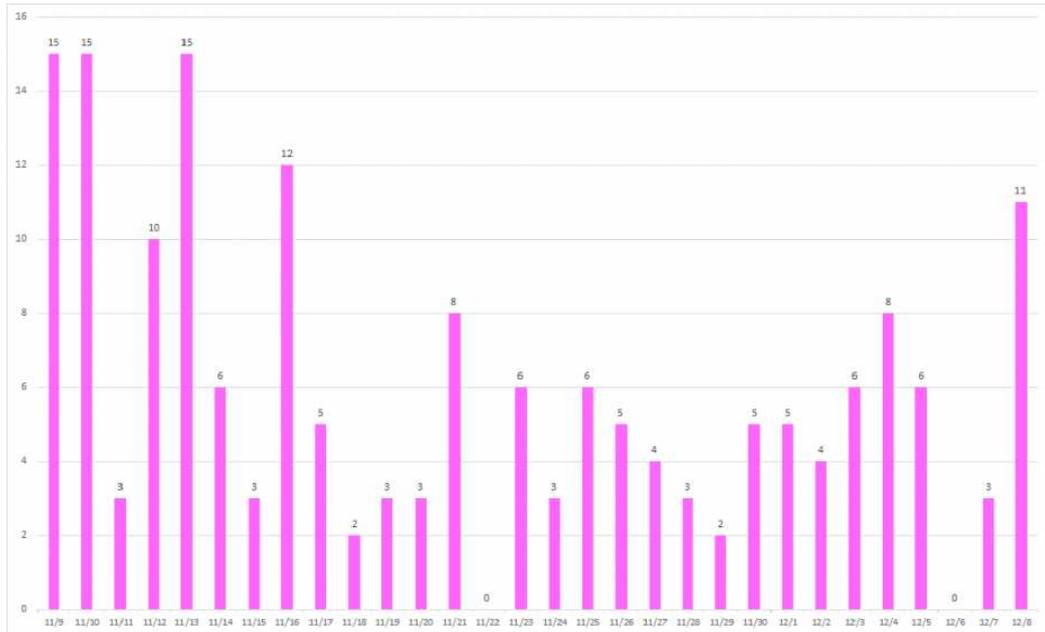
1) 感染再拡大警戒！感染対策の徹底を！

今後インフルエンザ流行の季節や年末年始を迎え、引き続き、感染再拡大への十分な警戒が必要です。

【直近1週間平均患者数】

○直近1週間平均 :4.1人

【直近1ヶ月の陽性件数の推移（11/16～12/15）】



兵庫県内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona_hassei_jyokyo.html

＜皆様へのお願い＞

落ち着いた社会生活を取り戻せるよう、感染防止対策の徹底をお願いします。

- 1 体調異常があれば、登校・出勤を控えましょう。
- 2 感染対策を徹底している飲食店を利用しましょう。
- 3 飲食時でも会話の際にはマスクをつけましょう

会食は短時間（2時間程度）にしましょう

- 4 ワクチン接種を積極的に受けましょう

ワクチン接種後も引き続き、**マスクの着用、手洗い、人と人の距離の確保**など基本となる対策の徹底をお願いします。

感染拡大を予防する「日常生活」（ライフスタイル）



新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」

時間	機関	電話番号
平日 9:00~17:30	朝来健康福祉事務所	079-672-0555
平日・休日 24時間	新型コロナ健康相談コールセンター	078-362-9980

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、以下のホームページ等で随時更新されています。

1 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

2 国立感染症研究所 新型コロナウイルスに関連する情報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

＜問合せ先・予約先＞朝来健康福祉事務所

電 話 079-672-0555

ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk08/asagoeizukensa.html>

メー ル asagohokensho-aids@pref.hyogo.lg.jp

実 施 日 1月実施日 1月6日(木)、1月20日(木)